

令和元年度 第7回全体庁議（8月29日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(1) 帯広市人口ビジョンの改訂（骨子）および第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略（骨子）について [政策推進部]
----	-------	--------------	---

■ 提案・報告の趣旨
<p>帯広市人口ビジョン(以下、「人口ビジョン」という。)については、内閣府の通知(「地方人口ビジョンの策定のための手引き(令和元年6月版)」)を踏まえ、人口動態の分析や将来人口の推計等改訂に向けた検討を行ってきた。また、第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「総合戦略」という。)については、これまでの取り組みの総括を行った上で、今後の方向性について検討してきた。</p> <p>このたび、庁内関係部および有識者等の意見もいただきながら、それぞれ骨子を作成したため、8月30日開催の総務委員会に報告するもの。</p>

■ 提案・報告の主な内容(概要)
<p>【帯広市人口ビジョンの改訂について(骨子)】 ○主な改訂内容: 人口動態の分析、将来人口の推計と分析、人口の将来展望</p> <p>1 人口動態の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年国勢調査人口は169,327人となり、2010年調査時と比べ、1,270人増加。 ・自然動態は、未婚化の進行等が影響し、マイナス幅が拡大傾向。 ・社会動態は、若年女性の転出超過傾向、札幌市・東京圏への転出超過の拡大傾向等により、マイナス傾向で推移。 <p>2 将来人口の推計と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去5年間の人口動態が続いた場合、現人口ビジョンの将来展望人口を大きく下回る。 ・中長期的な人口減少の抑制に向けては、自然動態の改善が重要になる。 <p>3 人口の将来展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな将来展望人口は、合計特殊出生率の仮定を現人口ビジョンの5年遅れとし、移動の仮定については、過去5年間の実績ベースの推計の純移動率のプラス部分、マイナス部分をそれぞれ2割改善する。 ・2045年145,644人、2065年125,755人となり、現人口ビジョンを若干下回る推計となる。 ・3区分別人口では、2015年から50年間で年少人口は13%の減少、生産年齢人口は39%の減少、老年人口は2040年にピークを迎えた後、2065年に2015年と同程度となる。 <p>【第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略(骨子)】 ○全体構成: 序論、現状と課題、取り組みの基本方針 ○主な変更内容</p> <p>1 序論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画期間は2020(令和2)年度から2024(令和6)年度まで(5年間) <p>2 現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの取り組み状況を踏まえた計画とする必要があることから、「現状と課題」のパートを新設 ・課題を踏まえ、「人口減少の抑制」「人口減少社会への適応」「人口減少・人口構成の変化を課題解決に活かす」視点で人口対策のさらなる推進を図る。 <p>3 取り組みの基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の強みと管内の結びつきの強さを活かし、「住みたい・住み続けたいまち」「十勝・帯広の魅力に共感した人々が、訪れ、集まり、共鳴するまち」を実現することをめざす姿に設定。 ・4つの基本目標のうち、「安全安心で快適なまちをつくる」は、性別・世代・国籍・障害の有無によらず誰もが活躍できる環境づくりを進めていく考えから、「安全安心でいきいきと暮らせるまちをつくる」に変更。 ・取り組みの柱のうち、現戦略にある「広域連携の推進」については、すべての基本目標に共通する取り組みとなることから、めざす姿に考え方を記載し、取り組みの柱からは削除。多様な主体の活躍を促進するため、誰もが暮らしやすい地域づくりの推進を新設。

■ 今後のスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年8月30日 総務委員会報告（骨子） ・令和元年11月 総務委員会報告（原案） ・令和元年12月～ パブリックコメント ・令和2年2月 総務委員会報告（最終案）

■ 審議結果
<ul style="list-style-type: none"> ・同内容で、8月30日総務委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし